

# 仙台市 農政だより

2018年 秋号



【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)



▲大豆の生育状況について説明を受ける郡市長

## 市長による農業視察が行われました

9月6日(木)、農作物の生育状況を把握するため、郡市長が農業視察を行いました。

宮城野区岩切地区のほ場では、仙台農業協同組合の菅野代表理事組合長や(農)岩切生産組合の加藤代表理事など、関係者から水稲や大豆の生育状況を聞き取りました。

郡市長は「西日本豪雨をはじめ、自然災害が各地で発生したので心配したが、この地域では十分に育っていると聞いて、安心した。大豆もたくさん実っているので、11月の収穫まで期間があるが、天候が順調に推移することを願っている」と話しました。

その後、認定新規就農者である堀井利一さんのハウスを訪れ、ハウスでのきくらげの栽培方法や、就農に至った経緯、販売先の状況などを聞き取りました。

また、(株)ジェイエイ仙台的農産物直売所「たなぼたけ」高砂店を訪れ、門馬店長より様々な市内農産物や、仙台産大豆を使用して開発された商品についての説明を受けました。

【農政企画課企画調整係(電話：214-8265)】

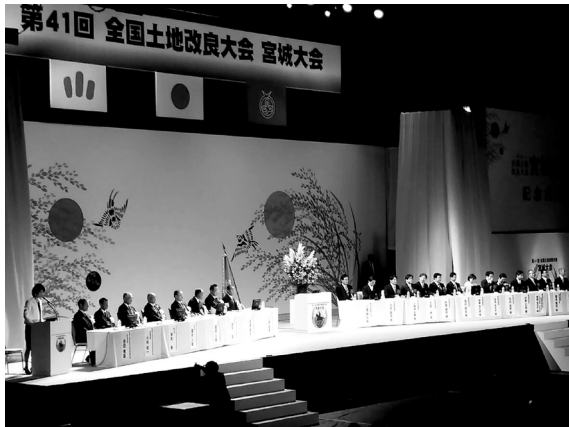
## 第41回全国土地改良大会が宮城県で開催されました

全国土地改良大会は、農業・農村の重要性と「農」や「食」、「環境」を支える基盤となる土地改良事業（農業農村整備）の価値や役割を広く国民に理解していただくために毎年開催されています。今回の宮城県での開催は東日本大震災から復興した本県の農業・農村の姿を、国民、農業者、水土里ネット、行政関係者など広く全国に発信することを目的としています。

10月16日にグランディ21で行われた大会式典には、全国より約6000人が参加しました。

10月17日～18日には、津波の被災を受けた荒浜小学校などの震災遺構や、世界農業遺産認定を受けた「大崎耕土」などで視察が行われました。国営ほ場整備事業が行われている仙台東地区でも視察が行われ、約1000人が高台に位置する見学会場の海岸公園を訪れました。

ほ場整備により大区画化された農地を前に、被災から復興に至るまでの7年半の取り組みについて、東北農政局、仙台市、仙台東土地改良区の担当者が説明を行いました。



▲盛大に執り行われた大会式典



▲仙台東地区の取り組み説明

【農林土木課ほ場整備推進室(電話：214-7328)】

## せんだい農業園芸センターで果物の収穫が始まりました



▲ぐんま名月(リンゴ)のジョイント栽培

せんだい農業園芸センターみどりの杜では、平成28年のリニューアルオープン後に定植したブドウやナシ、リンゴなどの果物が実り始め、今秋から収穫が始まりました。県内でも珍しい最新の栽培方法である「ジョイント栽培」などを取り入れています。

現地では、栽培の様子や取り組み内容をご紹介しますので、見学や説明等をご希望の場合は、事前にご連絡のうえ、お越しく下さい(有料の場合あり)。

また、土・日・祝日には果物狩りを行っており、11月はリンゴを予定しています(有料・予約優先)。時間など、詳しくは下記へお問い合わせください。

【仙台ターミナルビル(株)荒井事業所(電話：762-9688)】

# 仙台市からのお知らせ

## 野菜・花き用パイプハウスの設置を助成します

野菜・花きを生産するためのパイプハウス設置にかかる費用の一部を助成します。

### ○対象者

認定農業者、認定新規就農者、エコファーマー

ただし、市内に住所を有し、市税を滞納していない方に限ります。

また、本事業の補助対象経費について、国・県の補助金を受けている場合、あるいは受ける予定の場合は対象となりません。

### ○事業要件

- ・認定農業者・認定新規就農者については、市が認定した計画に基づいて行うものであること
- ・エコファーマーについては、認定を受けた導入作物の生産に要するものであること
- ・1年度につき農業者1人あたり500㎡を上限とする
- ・園芸施設共済の引受対象となる施設を整備する場合については、園芸施設共済、民間事業者が提供する保険又は施工業者による保証等に参加すること
- ・再築の場合、設置後10年以上経過していること

### ○助成内容

施設種類	施設基準	補助率
補強型	間口5m以上・パイプ口径30mm以上・専用ドア付	新築：事業費の1/3以内、2,400円/㎡限度 再築：事業費の1/4以内、1,800円/㎡限度
第1種施設	間口5m以上・パイプ口径20mm以上・専用ドア付	新築：事業費の1/3以内、2,000円/㎡限度 再築：事業費の1/4以内、1,500円/㎡限度
第2種施設	第1種施設基準以外のもの	新築：事業費の1/3以内、1,000円/㎡限度 再築：事業費の1/4以内、750円/㎡限度

今年度補助をご希望の方は、11月30日(金)までにJA仙台中央営農センター及び西部営農センターで配布している事前調査票で、下記までお申込みください。

【農業振興課担い手育成係(電話：214-7327/FAX：214-8338)】

## 特区制度を活用することで税制上の特例が受けられます

「農と食のフロンティア推進特区」制度の指定を受けることにより、所得税や固定資産税等の税制上の特例措置を受けられます。

### ○対象者

仙台東部地区及び四郎丸地区の農業振興地域内において、農業やその関連事業を行う事業者。

ただし、一度指定を受けた事業者の再認定はできません。

### ○指定を受けられる期間

2021年3月末まで(関係法令の改正により、当初期間より延長されています)

### ○活用できる税制上の特例

機械や装置、建物等を取得した場合、法人税・所得税の特別償却又は税制控除ができるほか、固定資産税が一定期間免除になります。

特区制度や指定手続きの詳細につきましては、担当までお問い合わせください。

【農政企画課農食ビジネス推進室(電話：214-8266)】

# セミナー開催のご案内

## GAP (農業生産工程管理) セミナーを開催します

「GAPとは何か?」最新のGAPをめぐる状況について事例を交えてご紹介いただき、農業経営にどのように取り入れて活かすのか、今回は、(株)アースコーポレーション 代表取締役 菊地利正様より、ご講演をいただきます。

参加費は無料ですので、ぜひご来場ください。

### ○日時

11月28日(水)  
午後2時～4時(受付 午後1時30分～)

### ○会場

せんだい農業園芸センター 研修室  
仙台市若林区荒井字切新田 13-1  
※無料駐車場がご利用いただけます。  
※公共交通機関もご利用ください。  
(地下鉄東西線荒井駅よりバス10分)

### ○対象者

農業者  
生産組織の代表者・構成員など

### ○内容

「農業経営に活かすGAP制度とは」

### ○定員

50名(先着 1組織5名まで)

### ○申込先

締切：11月21日(水)  
名前・住所・電話番号をご記入の上、FAX：762-9668  
又は、E-mail：kiyoshi.a@stbl.co.jp にて  
仙台ターミナルビル(株)荒井事業所(せんだい農業園芸セン  
ター内)まで

【農業振興課生産振興係(電話：214-8335)】

## 【農福連携】障害者雇用促進セミナーを開催します

障害者雇用への理解を深め、雇用の促進を図ることを目的に、今回は、(株)KDDIエボルバの担当の方より、雇用事例を交え、農福連携に関するお話をいただきます。

参加費は無料ですので、ぜひご来場ください。

### ○日時

11月15日(木)  
午後2時半～午後4時半

### ○会場

福祉プラザ1階 プラザホール  
仙台市青葉区五橋2丁目 12-2  
※公共交通機関をご利用ください。  
(地下鉄南北線五橋駅より徒歩3分)

### ○内容

企業の雇用事例の紹介  
(株)KDDIエボルバにおける障害者雇用の取り組み  
～「幸満つる郷 KDDIエボルバ 野蒜」の事例紹介～

### ○定員

100名(先着順)

### ○申込先

締切：11月14日(水)  
午前9時半から午後4時まで電話にて  
仙台市健康福祉局障害企画課社会参加係 まで

【健康福祉局 障害企画課社会参加係(電話：214-8151)】

### 【発行】仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)

〒980-0803 青葉区国分町3丁目6-1 仙台パークビル9階  
電話 022-214-8265 FAX 022-214-8338 (農政企画課)

◆Eメール kei008110@city.sendai.jp (農政企画課)

◆H P <http://www.city.sendai.jp/kurashi/shizen/norinsuisan/index.html>

仙台市農林水産業ページ

